

2025年度 文化学園大学大学院入学試験問題 1期
生活環境学専攻(修士課程)

デザイン論

受験番号					氏名	

1. グラフィックデザイン、プロダクトデザインなどの制作過程で画像生成AIを使用すると、どのような利点があると考えられるか、その利点を具体的に述べなさい。

【解答例】

「アイデアを広げやすい」、「多くの試行ができる」、「イメージを素早く形にできる」。この3点が画像生成AIをグラフィックデザインやプロダクトデザインの制作に使う利点である。

曖昧なイメージであっても、言葉で入力すると、AIが生成したさまざまなデザイン案がすぐに表示される。グラフィックデザインでは、自分だけでは思いつかなかった発想に出会うことができる。また、色や形態の違いなどを短時間で複数試すことができるため、いろいろな案を比較しながら考えることが多くの時間を要せず可能となる。プロダクトデザインにおいては、素材の違いや実際の使用場面を想定した複数のイメージが短時間で生成できるので、使いやすさや用途に応じた形態のバリエーションを早い段階から検討できる。

さらに、描画が得意でない人でも自分の考えをAIで視覚化できる事こそが、AIが無い時代と比べると大きな利点である。言葉よりもイメージでの共有を必要とする製品アイデアのプレゼンテーション資料では、その精度が向上することで、製品の企画会議で議論を深めることができる。

つまり画像生成AIは作品を代替するものではなく、思考を整理し、新しい発想を促すための支援ツールとしての使用が重要なのである。

2. 近年のグラフィックデザイン、プロダクトデザイン、モーショングラフィックス、アニメーションなどの具体的な例を1つ挙げて、そのデザインが優れていると思われる点について述べなさい。

【解答例】

Production I.Gが制作したアニメーション作品『PSYCHO-PASS サイコパス』は、デザインの面で非常に優れている作品である。

まず一つ目は、物語で設定されている「人の心の状態を数値で管理するその仕組み」を視聴者に理解させるグラフィックデザインである。画面上に合成される数値やグラフの色の変化によって、言葉での説明がなくても「AIに監視され、人間の価値が判断される社会」であることが映像で理解できる。

二つ目は、小道具のデザイン。AIが搭載された銃器がシステムと通信をして、その標的の選別をする。「人ではなくシステムが判断する社会」というテーマをその形や機能で表している。つまり道具そのものに物語の世界設定を伝える役割を持たせているのである。

三つ目は、色彩のデザイン。作品全体は寒色系の色合いで統一され、人工的で非人間的な雰囲気を伝えている。また、エフェクト技術による色彩調整によって、登場人物の生理や緊張感が色彩で伝わるようにしている。

このように本作の優れた点は、単に絵が美しいだけでなく、世界観をデザインによって表現しているところにある。デザインが物語を支えている好例であるとも言える。